

ちよつと良い健康温度。

地下5mの地熱を有効活用した

地熱の家

価値ある住まいへ創造力 全力



暑さ、寒さを自然のチカラ で少しゆるやかに。 「地熱の家」

井戸水が夏冷たく、冬暖かく感じるように
地下5mの温度は年間を通して $14^{\circ}\text{C} \sim 18^{\circ}\text{C}$
で一定しています。この平均 16°C の温度が、
夏は涼しく、冬は暖かく感じます。

地下5mの地中熱で熱交換、浄化されたクリーンな空気が、特性アルミパイプにより、建物内部に取り込まれ、室内温度を調整、換気します。

また、地中熱は、天候・四季に左右されないため、安定した再生可能エネルギーといえます。そんな、私たちの足元にある大地の恵み 地熱を取り入れた地熱の家が三木市で初めて完成致しました。

1階内部



キッチン

1階はLDKスタイルとし、対面式のキッチンを採用。コミュニケーション溢れる場となるよう配慮しました。また、システム収納、家電収納を設置し収納量を確保。

壁の一部にはモザイクタイルを張り遊び心たっぷりのキッチンとなりました。



書斎スペース

畳コーナーの一角に書斎スペースを設けました。カウンター材には無垢の杉材を使用し塗料には木の質感を損なわない自然塗料を施しました。

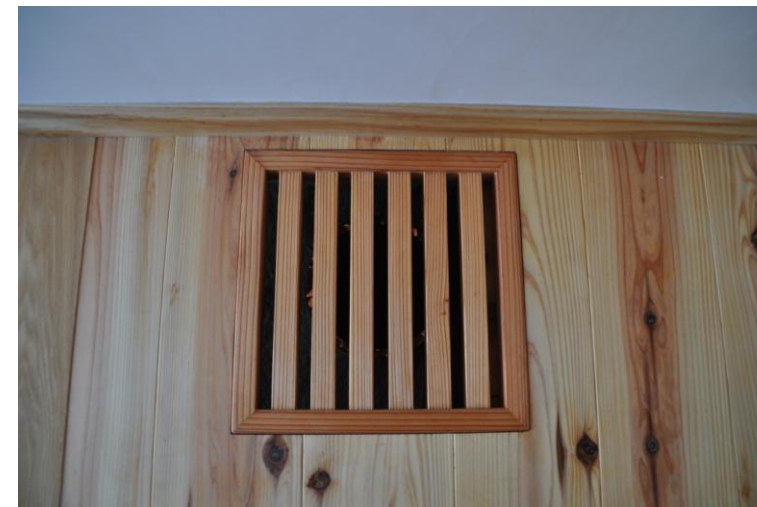
畳と床との境付近をご覧ください。ここにも地熱の吹き出し口があります。



リビング

一日のうち一番長い時間を過ごすリビング。だからこそ、素材にこだわりました。住む人が、見て落ち着き、触って和む空間。

写真右下の床吹き出し口からは、新鮮な空気 地熱の風が吹き出し、温度調整・換気をするにより健康的な空間を創りだします。



地熱の風床吹き出し口

この床に設置したガラリから地中熱により熱交換及び清浄されたクリーンな風が吹き出します。このような吹き出し口が1階に4箇所あり、全体に行き渡ります。



畳コーナー

1階のLDK続きに畳コーナーを設けました。LDKとの境に引き戸を設置することで、一体利用、個別利用に対応できるよう配慮しました。

窓には1台2役のスクリーンを設置し、和のテイストを残しつつ、LDKとの調和も考慮した色彩計画に配慮しました。



地熱の風吹き出し口（内部）

地熱の風吹き出し口の内部です。上の写真の木製ガラリを取り外した様子です。ガラリの隙間から落ちたホコリや吹き出し口廻りの清掃のためガラリは取り外しが可能です。

2階内部



主寝室

主寝室も他室同様に自然素材で仕上げました。

床は暖かみがあり、足触りの良い杉の無垢材を使用。

天井・壁は優れた耐火性と防臭・防カビ効果の高いドイツ仕くい左官塗り仕上げとしました。塗り壁の手仕事の跡が落ち着いた空間を醸しだします。



洋室A

床は他室同様杉の無垢材を使用しています。杉は樹種の中でも比較的やわらかい材料です。ゆえに、キズがつきやすいといえます。しかし、既製品と違い、キズをも自然に見せるおおらかさがあります。そして何より、温もりや足触り、香りといった良い特性があります。



主寝室

主寝室は東に面しておりこのスリット窓から優しい朝日が差し込みます。（太陽の目覚まし）

この窓から見える景色が良く、初日の出も見れるそうです。



木製建具

地熱の家の内部建具は全て木製建具を採用しています。建具にも杉を使用し、意匠と香りの統一化を図りました。

建具の明りとりにはガラスではなく、ポリカ板を使用することで、軽量化と安全性に配慮しました。



主寝室トップライト

主寝室の出窓上部の少しの空間を利用してトップライトを設けました。側窓からの光とは違い何とも言えない穏やかな光をキャッチします。

さらに、上部からの光が塗り壁に陰影をつけ、アーティスティックな表情をあたえます。



地熱の風吸い込み口

写真は地熱の風の吸い込み口です。1階の床（最下部）から吹き出した地熱の風は2階の天井（最上部）に吸いこまれます。この仕組みのおかげで室内全てに地熱の風が経由・循環するわけです。